



毎月第1・第3日曜日発行
広報みたかはシルバー人材センターの会員がお届けしています。

発行：三鷹市
編集：秘書広報課
〒181-8555 三鷹市野崎1-1-1

市役所代表電話
☎0422-45-1151(代)
ホームページ
http://www.city.mitaka.tokyo.jp/

携帯サイト
http://www.city.mitaka.tokyo.jp/i/



今号の紙面から

- 北野の里(仮称)を中心としたまちづくりワークショップ
みなさんからのご意見を紹介します……2面
- 災害対策基本法に基づく災害に備えた
名簿づくりに取り組みます……3面
- 三鷹市立図書館は
今年度開館50周年を迎えます……4面
- 市からのお知らせ……11面から
- ご注意ください！
集中豪雨が起きやすい季節です……12面



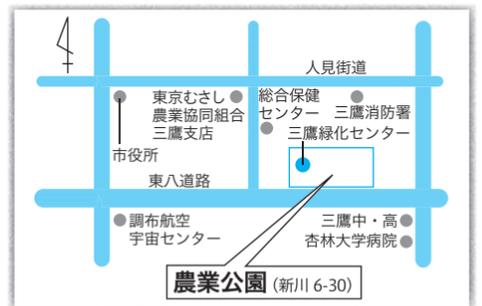
遊びにおいでよ！
農業公園！

三鷹市農業公園は開園10周年を迎えました



三鷹市農業公園は、市民のみなさんが農業を学び、自然とふれあう体験・交流の場として、平成16年4月に開設し、今年で開園10周年を迎えました。これまでも多くの方々にさまざまな形で利用され、好評をいただいておりますが、施設の一部リニューアルや開園10周年記念イベントをはじめ、今後もさらなる進化を続けます。これからもぜひ、農業公園に遊びに来てください。

☎生活経済課 ☎内線3063



※同公園は、市民や関係者などで構成する農業公園運営懇談会の意見を聞きながら、東京むさし農業協同組合が指定管理者として運営管理を行っています。



農業公園の楽しみ方



実習農園が一部リニューアル

野菜の栽培講習会などを行う「実習農園」と見本庭園「ガーデニングエリア」が一体化し、公園内の農園面積が大きくなりました。また、隣接のウッドデッキ前に東西通路が新設されたことで、さらに快適に利用できるようになりました。



自由広場

市民のみなさんが自由に利用でき、バーベキューなども可能です。団体利用(15人以上)や、火気を使用する場合は、事前に三鷹緑化センター☎48-7482へ届け出が必要です。



体験農園

公園に隣接する農業者の畑で、農家の方から直接指導を受けながら、花や野菜を育てる体験ができます。



三鷹緑化センター

東京むさし農業協同組合が運営する直売所で、市内の農家が生産した新鮮で安全な野菜や植木、花き類、加工品などが購入できます。

開園10周年記念イベント

7月5日(土)午前10時～午後4時(雨天時は、翌日に順延)

主 市、農業公園運営懇談会
所 農業公園 申 当日会場へ

スケジュール

- ◆一小ジュニアバンドオープニング演奏 午前10時～10時10分
- ◆10周年記念セレモニー 午前10時10分～10時30分
- ◆レイズドベッド寄せ植え体験 午前10時30分～11時30分
バリアフリーに配慮し床面を高くした花壇(レイズドベッド)で寄せ植え体験ができます。
- ◆樹名板づくり 午前10時30分～午後0時30分
- ◆オリエンテーリング 午前10時30分～午後1時30分
クイズラリー形式で園内を歩きます。終了後は、ジャガイモの収穫体験があります。
- ◆ステージイベント
午前11時30分～午後1時30分
午後2時30分～4時
- ◆模擬店 午前10時～午後3時30分
焼き鳥、たこ焼き、綿あめなど。



高齢者や車いすの方も利用しやすいレイズドベッド

※当日は自家用車でのお来場はご遠慮ください。

※農業公園で近日中に開催予定の講習会を12面で紹介しています。



開園10周年を迎えた三鷹市農業公園にて

三鷹市長メールマガジン

市長のメッセージ、活動記録、部課長コラム、新着情報などをお届けします。登録は、市ホームページまたは携帯サイトからどうぞ。



市長コラム

都市農業があることのシアワセ

三鷹市長 清原慶子

ただ今梅雨の真っ最中です。大雨の被害は心配ですが、梅雨は農業には大切なものです。三鷹市では、市民の皆様には大切なものですが、市民の皆さんも、市民の皆様には、野菜作りや園芸の講習会などを通じて農業者と交流し、都市農業への関心と理解を高めていただくために、平成16年4月から新川6丁目の東八道路沿いに「三鷹市農業公園」を開設し、今年でちょうど10周年を迎えています。

この農業公園を利用する際のルールや実施する事業の企画等は、障がい者の方を含む公園利用団体の代表、公募市民、農業公園の指定管理者として運営管理を担当している東京むさし農業協同組合の代表、体験農園主、そして三鷹市役所の担当部長らで構成する「農業公園運営懇談会」での話し合いにより、具体的な内容を決めながら進めてきました。

三鷹市民の皆様は都市農業があることで、三鷹産の新鮮な野菜、花や植木、卵などを購入することが出来ます。また、農地が身近にあることで緑と土に親しむことが出来ます。子どもたちも学校農園で大いに農業を体験しています。毎年11月に開催される「農業祭」では、三鷹地区の農協青壮年部の皆様が募集した、子どもたちが描いた「農のある風景画」が展示されます。そして、その絵とともに三鷹市職員の栄養士による「三鷹産野菜を使った料理のレシピ」を掲載した「食育カレンダー」が作成され、学校や公共施設に掲示されています。

農業祭では農業委員会の皆様も「農家の四季コンテスト」を実施して、都市農業のあることのシアワセを示してくださっています。農業と商業の協働の取り組みの代表的なものは28年前から始まったキウイワイン作りで、今年も5月から売り出されています。三鷹産野菜や果物を使った洋菓子やパン、ロッケなども市内の商店で販売されています。

市民の方のご寄付を活かした実習農園や通路の改修が終わり、7月5日(土)には開園10周年の記念セレモニーと楽しい農業関連のイベントを開催します。農業公園で、都市農業のあるシアワセを感じていただければ幸いです。